

能美市伝統野菜「加賀丸いも」の知名度向上・販路開拓プロジェクト

指導教員	金沢学院大学	教授	飯田 栄治			
		教授	荒川 昭広			
参加学生	寺越 遥人	島 聡明	倉本 遥加	大塚 夢来		
	村口 美佳	久保田 彩				

能美市伝統野菜「加賀丸いも」の 知名度向上・販路開拓プロジェクト

～能美市伝統野菜「加賀丸いも」の知名度向上と販路開拓・拡大～



金沢学院大学 飯田ゼミ・荒川ゼミ

解決・改善すべき課題の背景

能美伝統野菜「加賀丸いも」ブランドの生残りに危機感！

【背景と実態】生産者数及び生産面積が減少

- 生産者数 33名（平成28年） ➡ 16名（令和2年）
- 生産面積も減少傾向



プロジェクトの目的と活動概要

「加賀丸いも」に関して、様々な方法で県内外の認知度を上げ、販路開拓を図ることが目的

- ・ 昨年の「縁起物戦略」の有効性の再確認
- ・ 新たな広報ツール「アニメーション」の制作

改めて2022年度のプロジェクツの振り返り

「加賀丸いも」の認知実態



新聞に掲載された認知度情報

広報戦略再考

「加賀丸いも」の特徴

一昨年度の調査で
カリウム豊富が判明

- 集中力アップ
- 余分な塩分の排出



料亭「つばき」川村料理長

強い「粘り気」に着目

逆さにしても落ちない

粘ーギブアップ

認知度向上戦略

合格祈願の縁起物として
受験生の聖地「金澤神社」
で販売



金澤神社



パッケージのリニューアル



金澤神社境内にて販売



実際に金澤神社にて祈祷

予想以上のヒット！2日間で45箱完売！

2023年度のプロジェクツ活動内容（これまでの集大成）

今年度が本プロジェクトの最終年となる。これまでの全蓄積を多様なメディアで情報発信する。神社での対面販売では、震災復興祈願も活動に含め、収益を義援金とする。また、広報ツールとしてのアニメーションを制作する。なお、今期のJAでの売れ行きは、昨年の効果が出て最高となった。



金沢ケーブルTV



エフエム石川



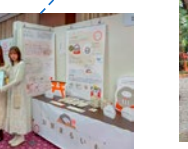
石川県デザイン展 学生部門最高賞受賞



JAのInstagram



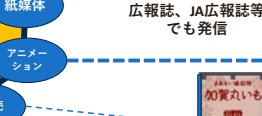
テレビラジオ



デザイン展でPR



紙媒体



多様なメディア



対面販売



新聞、その他、市の広報誌、JA広報誌等でも発信



アニメーション



震災以降復興祈願も活動に含めた

「まるるん」の秘密
シリーズを制作中

「まるるん」の秘密（歴史編）
「まるるん」の秘密（栄義編）
「まるるん」の秘密（招福編）
「まるるん」の秘密（レシピ編2）

「まるるん」の秘密（生育編）
「まるるん」の秘密（粘り気編）
「まるるん」の秘密（粘り編1）
「まるるん」の秘密（レシピ編3）



「まるるん」の秘密
シリーズ
招福編の例

新しい広報ツール！アニメーション！

1. 活動の成果要約

これまでの取り組みとして、加賀丸いもに関するレシピ動画の制作と SNS での発信、丸いもスムージーの開発、栄養価の分析など PR のツールを整備してきた。また昨年は、販売戦略としてパッケージデザインの取組みに加え、縁起物としての販売戦略を立て、能美市役所、JA 能美と連携しながら、今年はプロジェクトの集大成の年となる。そこで、これまでの取組みを、総括として様々なメディアで発信すると同時に、昨年好調な売り上げを達成することができた、販売戦略が本物であったのか確認する。また、新たな広報コンテンツとしてのアニメーション制作についても報告する。

2. 活動の目的

「加賀丸いも」は大正時代から栽培が始まった能美市伝統野菜である。平成 25 年 12 月 1 日に「加賀丸いも 100 年記念祭」が開催され、地域としても次世代に継承していきたい農産物ととらえている。近年、生産者数及び生産面積が減少してきている。平成 28 年の段階では、33 名いた生産者が令和 2 年では、16 名と、半減しており、生産面積も減少傾向にある。この問題は、農家および「加賀丸いも」ブランドの生き残りの問題とも言える。本事業の目的は、「加賀丸いも」に関して、SNS、映像配信、その他の魅力 PR 手法を活用して、県内、県外の認知度を更に上げ、最終的には、新たな販路開拓を図ることである。そのために重要なことは、食材としての価値の見直しと発想の転換を図る必要がある。

3. 活動の内容

(1) 知名度向上・販売活動の方針打合せ

7 月まではリモート等で能美市役所と打合せを行い、8 月、9 月、11 月、12 月に 1 回ずつ能美市、JA 等と対面で打合せを行い、細部方針を決定した。

今年度は、新たな要素として、アニメーションを制作し、小さな子供にも分かりやすい食育コンテンツを作成することとなった。

なお、丸いもの収穫は 11 月からとなるため、具体的な活動はそれ以降となる。

右の写真は、12 月 15 日に、JA 能美において、JA の職員、生産者、そして学生チームとの打合せを行った際の集合写真である。



(2) 今年度の活動

主に、以下の活動を行った。

- ・これまでの活動をマスコミに情報発信を行った。
- ・昨年好評を博した「合格丸いも」の販売に関して、その効果を今年度も確認する。(継続中)
- ・アニメーション制作を実施する。(継続中)

a. ラジオ放送での情報発信

取材日：2023年10月13日（金）

放送日：2023年10月21日（金）18:00-18:30

放送局：エフエム石川

番組名：ほくりくアイドル部

放課後ホリデイ muspop RADIO♪

テーマ：ニッポンフードシフトの観点から

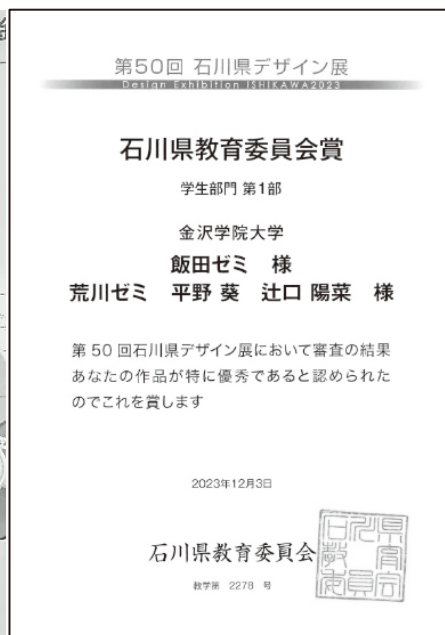
地物食材を見直す



b. 石川県デザイン展での情報発信

活動のPRを兼ねて、本取組みを、石川県デザイン展（しいのき迎賓館2階ガーデンルーム・令和5年11月30日（木）～12月3日（日））に出展した。

その結果、学生部門の最高賞「石川県教育委員会賞」を受賞することができた。



c. 新聞での情報発信

以下2回の新聞取材を受けた。



令和5年1月18日(木) 金澤神社にて丸いものお祓い

令和5年1月21日(日) 初回販売

d. 金沢ケーブルテレビでの情報発信 (2024年1月19日夜)

金沢ケーブルテレビで活動が紹介された。

<https://www.youtube.com/watch?v=2VJi6j9S-IU>



(2) 金澤神社での販売

以下の日程で販売活動を行った。今回は利益を令和6年能登半島地震の義援金として役立ててもらうこととし、その旨メディアにおいても告知を行った。

1月21日(日)

1月28日(日) ※諸般の事情で2月以降に延期

2月1日(木)



(3) アニメーション制作について

現在、能美市や JA のホームページなどで用いる広報ツールとしてのアニメーションを制作中である。タイトルは以下の 8 本である。

「まるるん」の秘密（歴史編）

「まるるん」の秘密（栄養価編）

「まるるん」の秘密（招福編）

「まるるん」の秘密（レシピ編 2）

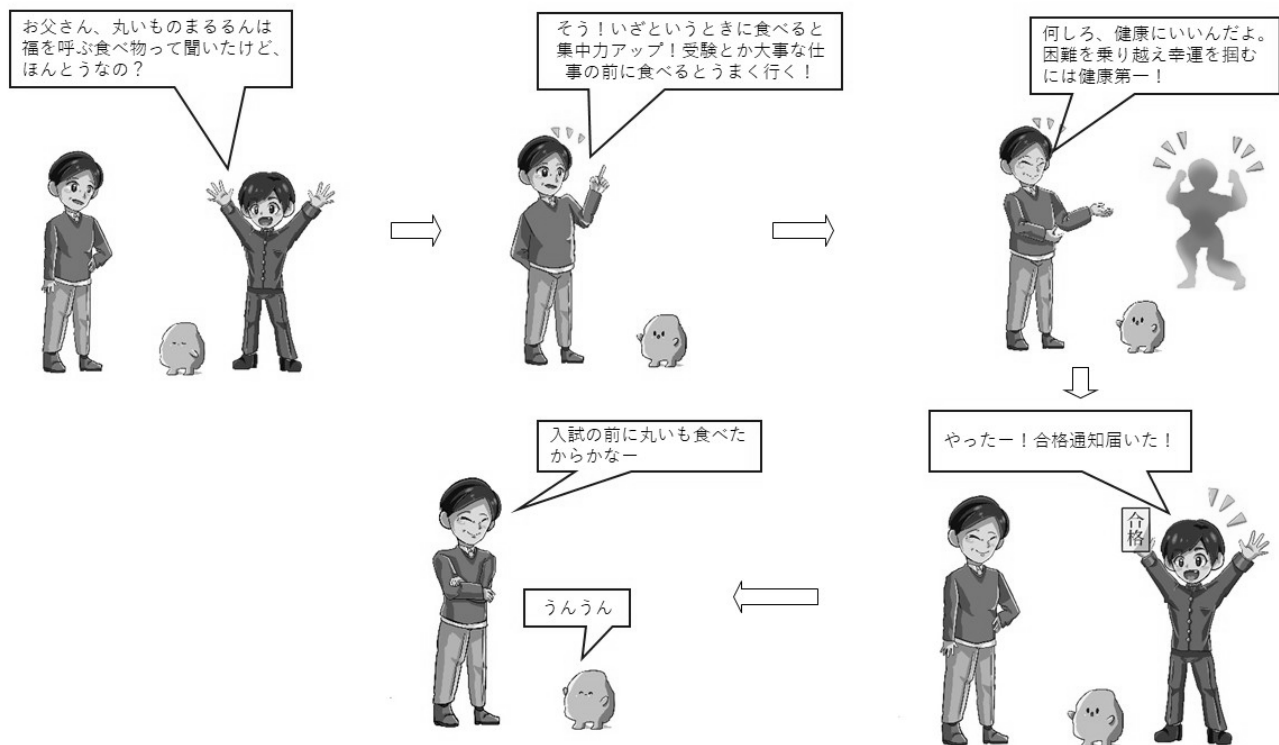
「まるるん」の秘密（生育編）

「まるるん」の秘密（粘り気編）

「まるるん」の秘密（レシピ編 1）

「まるるん」の秘密（レシピ編 3）

下図は「まるるん」の秘密（招福編） のアニメーションの 1 例である。



4. 活動のまとめ

これまで、「丸いも」という食材について、能美市および JA に対し知名度向上、販路拡大の観点から様々な取り組みを展開させて頂いた。今期は集大成の年となるので、これまでの取組みの情報発信を様々なメディアで展開した。その成果として、昨年、合格丸いものパッケージを一新し、金沢神社での販売キャンペーンを行ったことで、JA 能美での売れ行きは、旧パッケージでは、シーズンを通して、10 箱程度の売り上げであったが、今年は 1 月中旬の段階で、販売予定の 30 箱をすべて売り切り、JA 担当者からは、明らかに効果があったと聞いている。

金沢神社での販売は、当初、正月から計画していたが、能登地震の影響もあり、予定が変更された。現時点、販売活動は継続中である。昨年は、受験生等に 2 日間で 45 箱の丸いもを購入頂いた。

購入者の中には海外の方々もいたが、震災の影響で海外の観光客は激減している。そこで、販売目的に、「震災復興祈願」という名目も加え、売上の利益を震災の募金にあてることとした。そのことで、購入のためのインセンティブも維持され、昨年並みの売り上げが見込まれる。

最終結果は、アクティブフォーラムで報告する。